※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２２

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次 （普通科）
使用教科書	高等学校「公共」　（第一学習社）						
副教材等	なし　（必要なデータ、資料はＩＣＴを活用して引用、提示）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①　教科書本文から課題をみつけ、探求するテーマを明確にし、解決策・最善策を検証していく。
　グループ討論を繰り返し、テーマ学習に取り組み発表する中で相互理解を深め、基礎的知識を習得させる。
②　社会で起こっている時事的な事例や課題に関する資料などを活用し、導入などで活用するなど興味・関心をもたせて現代社会の理解を深めさせる。
③　ＩＣＴを活用し、現代の諸課題について生徒ひとりひとりの「調べ学習」やレポート作成などもおこない、興味関心にとどまることなく、社会参加、問題解決の手がかりを発見していく。
④　生徒が全体の場で発表する機会を設け、主体的かつ思考と探究を充実させる。

２　学習の到達目標

【総論】人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追及したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

(1)　現代社会でおきている様々な課題を捉え考察・思考し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，それらに関する資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2)　現実社会の課題の解決に向けて，思考・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，議論する力を養う。

(3)　よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会における様々な問題や課題を正しくとらえ、その内容や理論について分析・検証したうえで理解するとともに、解決に向けて必要な資料や情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代社会でおきている様々な基本的問題の解決に向けて、現状認識の本質を広い視野に立って多面的・多角的に思考・判断するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ、その過程や結果を適切に表現する。	これからの社会に対して基本的な問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共の扉	・公共的な空間をつくる私たち ・人間としての在り方、生き方についての探求 ・社会に参画する自立した主体として ・多様性と共通性 ・キャリア形成と自己実現	a:人間は個人として尊重されるとともに他者に対する理解と相互に尊重すべき存在であることが理解できている。 b:現実社会の問題として幅広くとらえ、十分に考察・思考できている。 c:自分自身が、主体的によりよい公共的な空間を作り出していくことの重要性について理解している。	定期考査	定期考査 レポート 調べ学習 提出ﾉｰﾄ	レポート 発表
	公共の扉	・自立した主体になることに向けて ・人間の尊厳と平等 ・個人の尊重 ・民主政治の基本原理 ・より良い公共的な空間づくりをめざして ・世界の政治体制 ・日本国憲法に生きる基本的原理	a:人間の尊厳と平等、民主主義、法の支配など公共的な空間における基本的原理について理解している。 b:　自らも他者もともに納得できる問題解決に向き合えている。 c:よりよく知るために必要な情報を主体的に収集する力を身につけている。	定期考査	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	レポート 発表
		個人･グループによる調べ学習 ①　「人権問題について」 ジェンダーや性的マイノリティも含め広い視野からこの問題について考える。 ②　「地球環境問題について」 SDGsからテーマを探し、 調べたことを発表する できるだけグループで調べる機会を設定する。	b：他者の意見についても十分に考察し、正しい問題解決に向けて主体的な活動を実践している。 c：問題点を明確にし、主体的に考えようと取り組んでいる。		レポート 調べ学習	レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
２学期	自立した主体	・法や規範の意義と役割 ・法と基本的人権 ・自由・平等と法 ・司法参加の意義 ・裁判所の人権保障	a:法や規範に異議及び役割にかかわる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:身近な紛争や訴訟を取り上げ幸福・正義・構成などに着目して考えている。 c:法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	レポート 発表ﾄ
	自立した主体	・政治参加と公正な世論の形成 ・選挙の意義と課題 ・政治参加と絵論の形成 ・メディアリテラシーを身につけよう ・選挙権を得たら	a:政治参加と公正な世論にかかわる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:選挙の仕組み、政党の役割、世論の形成について考察・構想し、表現している。 c:政治参加について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	レポート 発表
２学期	自立した主体	・日本の政党政治のこれから ・国会と立法 ・内閣と行政の民主化 ・地方自治と住民福祉 ・地方自治の組織と運営 ・災害と情報	a:国会の地位と構成、権限や三権分立などについて正しく理解している。 b:地方自治と国政の関係、地方自治の課題についても考察、構想し表現できている。 c:地方自治と国政の抱える課題、問題について、自分自身の問題として理解し、主体的に行動し解決しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	レポート 発表
		調べ学習 ①　「地方自治の諸問題」 ②　「共同参画社会」について	b：他者の意見についても十分に考察し、正しい問題解決に向けて主体的な活動を実践している。 c：問題点を明確にし、主体的に考えようと取り組んでいる。		レポート	レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	政治的主体	・国際社会と国家主権 国家と国際法 国境と領土問題 ・日本の安全保障と防衛 ・平和主義と安全保障 ・核兵器の廃絶と国際平和	a:国際社会や平和主義にかかわる資料を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 b:国際社会について国境や領土をめぐる問題を主体的に思考・判断し解決している。 c:日本の安全保障や国境問題の課題解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	 レポート 発表
	政治的主体	・国際社会の変化と日本の役割 ・今日の国際社会 ・冷戦について ・国際平和を築くために	a:国際社会や国際情勢の変化と日本の役割にかかわる現実社会の課題を理解している。 b:変化する国際情勢・社会情勢について、広い視点に立って国際平和の在り方を正しく理解し、考察している。 c:国際平和の実現について理解し、主体的に解決するための具体的な行動をとっている。	定期考査	定期考査 提出ﾉｰﾄ	 レポート 提出ﾉｰﾄ
3学期	経済的な主体	・雇用と労働問題 ・市場経済 ・金融と財政 ・経済のグローバル化	a:経済分野の概論について正しく理解している。 b:日本経済の様々な項目について広い視野に立って考察している。 c:これから学んでいく経済の事柄について主体的に考えようとしている。	定期考査	提出ﾉｰﾄ レポート	 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度